誠実 行動 親切

商工くろいし

編集発行：黒石商工会議所
〒036-0307
青森県黒石市市ノ町5-2
TEL 0172(52)4316
FAX 0172(53)3875
URL http://www.k-cci.or.jp/
E-mail kuroishi@k-cci.or.jp

村上会頭 年頭所感

黒石商工会議所
会頭　村上信吾

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、心から新春をお祝い申し上げます。昨年は、最深積雪180㎝と観測記録を更新する2年続きの豪雪でスタートし、台風18号では他市町村に比べ田畑等の被害が少ないとはいえ、冠水被害や土砂崩れ、道路一部陥没など市民にとって甚大な自然災害を受けた一年でありました。

国内においては、尖閣諸島の領土問題など日中韓関係の悪化や電力エネルギー問題がマスメディアを賑わしました。経済面ではデフレ脱却に向けたアベノミクス効果により、自動車業界を中心とした製造業や非製造業等の業況好転もあり景気の裾野拡大の動きが見られ、個人消費においても4月の消費増税を前に住宅関連や電化製品の買い替えなど活発な動きがありました。また、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定、プロ野球では東北楽天が日本一に輝き、当市では、阿保六知秀氏が全国こけしコンクールで内閣総理大臣賞受賞など明るい話題がありました。

当地域の観光面では、小嵐山・中野もみじ山は効果的なライトアップによる幻想的な空間を醸し出し、紅葉観光スポットとして認知され、観光客は増加傾向となっています。また、新たな試みとして隣接する平川市と田舎館村と連携し、地域の観光スポットを繋ぐ滞在型広域観光ルートの開発に取組んでいます。一方、商況面では都市部の商況好転の影響も見られず、依然として商況回復には至っていない状況が続いており、会員企業と商工会議所との連携強化の必要性を痛感しております。

こうした中、地域の商工会議所として“さくら祭り”や“黒石よされ”“こみせまつり”など四季を通じた一連のイベントに参画し成功裏に進められたことは、行政のご支援はもとより市民の方々のご協力あってのことと厚く感謝申し上げます。

昨年11月の臨時議員総会において、新たに会頭に選任され重責を担うこととなりました。今年は、会員企業の経営安定のための雇用促進事業やマル経資金、消費税転嫁対策などの情報提供や経営改善に向けた相談業務を更に充実させていくこととしております。重点事業として「商店街の活性化」「会員事業所の経営安定」を掲げ、役職員一丸となって頑張っていく所存でありますので、ご理解・ご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに会員皆様方の健康と事業繁栄を祈念し挨拶といたします。

三村日商会頭 年頭所感

日本商工会議所
会頭　三村明夫

全国の絆で被災地の早期復興を果たし、日本再出発へ、力強い一歩を

東北の皆さま、明けましておめでとうございます。

■「日本再出発の礎」を築く

私は、昨年１１月の会頭就任時に「新たな日本再出発の礎を築く」とした所信を表明しました。新たな再出発を果たすため、「わが国の強みと潜在力の再認識とその発揮」、「民間の自助努力」、「成長につながる国際化」の３つの視点を踏まえた上で、「現場主義」と「双方向主義」を基本行動として、商工会議所の運営に取り組んでまいります。

■民主導で「成長戦略」実行

さて、今年はデフレ脱却と経済再生の道筋を確実にするための正念場の年となります。デフレマインドから脱却し、自信を持って前向きな行動マインドに転換する、いわば「国のリセット」の年と言えます。

その成否を握るのは「成長戦略」であり、実行の主役は民間企業、特にその大宗を占める中小企業です。大企業を中心に業績の回復がみられますが、中小企業の景況感は、依然としてまだら模様と言わざるを得ない状況です。わが国の成長を確実なものとするためには、日本経済の基盤を支える中小企業全体の底上げを実現する必要があります。

そのためには、まずはわれわれ自身が気概と自信を持ち、自助努力を重ねることが大事です。多くの中小企業は、独創的なアイデアや創意工夫を持って、成長を図っています。知恵を絞って課題解決を図っている好事例は貴重な財産ですので、商工会議所が中心となって、広く横展開を図ってまいります。一方、自らの力だけではどうしても解決できない構造的な課題の解決策については、現場と丹念に対話を重ね政策提言にまとめ、政府等に積極的に発信してまいります。特に、４月の消費税率引き上げに関しては、中小企業の円滑な価格転嫁が進むよう、万全の対策を進めてまいります。

■「日本再出発」に向けた重点課題への取り組み

今年で東日本大震災から３年が経ち、私も会頭に就任してすぐに被災地を訪問いたしました。被災企業が事業再開を果たし、徐々に復興への歩みが進んでいる様子を目の当たりにし、これも、東北の皆様のひたむきな努力と、何があっても諦めない意思の強さの表われであると感服しました。しかしながら、地域によっては依然として復興が進んでいないのも事実で、今年も全国５１４の商工会議所の皆様の力を結集して「遊休機械無償マッチング事業」、「販路回復事業」などの被災地支援を継続します。１日も早い本格復興に繋げるため全力を挙げていきましょう。

特に、福島再生については、国の強力なリーダーシップのもと、原発事故の早期収束を目指すとともに、適正な除染や避難している方々の生活再建、風評被害の根絶、汚染水問題の早期解決などを図る必要があります。復興への道筋が見えない中、地域の経済やコミュニティーを支えようと尽力しているわれわれの仲間を全面的に支援してまいります。

また、「エネルギー政策」、「“経済連携協定の着実な推進と強い農林水産業の創出”の同時達成」、「社会保障制度の再構築」などの重要課題に対しては、１２７万会員の力を結集して、積極的な政策提言を続けてまいります。

２０２０年のオリンピック・パラリンピック開催は、各地域においても自身の成長を実現できるチャンスです。地域活性化の中核的な担い手である商工会議所が主導して、観光資源や文化、歴史をうまく活用し、独創性にあふれる多くの取り組みを生み出し、地域の再生につなげていきましょう。

■「地域の発展」「日本の発展」のために

私たち商工会議所は、「会員企業の発展」、「地域の発展」、「日本の発展」の３つのミッションを持っています。そしてこの３つが同一方向を向いていることが極めて重要です。

私は、会頭に就任後すぐに、全国９ブロックの主要商工会議所を訪問してまいりました。

そこで地域や日本の発展のため、多大な努力を日々実践している現場を目の当たりにしました。大変力強く感じるとともに、こうした活動をより深化させていかなくてはならないという思いを新たにしました。地域における商工会議所のリーダーシップを発揮し、地域発の成長を強力に進めてまいりましょう。本年が、日本再出発に向けた力強い一歩を踏み出す年となりますよう、皆様の一層のご支援とご協力を心からお願い申しあげます。

TOP SECRET 商工会議所のヒミツ
http://www.jcci.or.jp/secret/

謹んで新年のお慶びを申し上げます。　2014年正月　黒石商工会議所

顧問
黒石市長　鳴海広道
衆議院議員　木村太郎
青森県議会議員　髙樋憲
黒石市議会議長　村上啓二
黒石商工会議所名誉会頭　横山園吉
黒石商工会議所名誉会頭　中村勝治
前黒石商工会議所会頭　北山肇

参与
黒石公共職業安定所
(一社)黒石地区労働基準協会
青森県立黒石高等学校
青森県立黒石商業高等学校
元黒石商工会議所専務理事　佐藤哲郎
元黒石商工会議所専務理事　佐藤忠征
元黒石商工会議所専務理事　桜庭司
元黒石商工会議所事務局長　三上謙二

会頭
村上信吾

副会頭
新岡常雄
工藤英麿

専務理事
工藤和明

常議員
佐藤光郎
館正伸
中村幸正
福士収蔵
長内俊
伊藤忠志
盛孝
三上武
中村公成
溝部慎一
小田桐裕次
泉誠
扇谷遂
須藤重昭
佐藤慎司

議員
駒井順一
宮本敦
北山泰雄
横山博
鳴海信宏
小倉順一
宇野正行
西谷陸奥雄
坂田輝美
小山内慎一
三浦一真
木村英悦
髙樋睦子
松井浩之
山田広巳
山田春彦
原田篤久
相澤元保
齋藤春仁
加藤正彦
徳田祐之
伊藤和彦
佐藤秀長
津留保宏
石澤輝昭
濱田公一
松村久美子
三上勝久
増田邦春
佐藤元春
村元幸仁
千葉清光
工藤倫生
佐藤正彦
対馬学
小友美保子
後藤英輝

監事
阿保恵治
村岡寿一
島田充
桑田泰孝
千葉秀美
三上知則
中村公生
阿保六知秀

事務局長兼中小企業相談所長
三上昌一

ほか職員一同

※平成26年１月15日現在